

報道関係者各位

Press Release

認定NPO法人 言論NPO

## 「強い市民社会」に向けて、初めての評価基準を非営利セクターに提案する 『「エクセレントNPO」の評価基準～「エクセレントNPO」を目指すための自己診断リスト 初級編～』 ブックレットを発売

認定NPO法人 言論NPO（東京都中央区日本橋・代表 工藤泰志）は11月30日、ブックレット『「エクセレントNPO」の評価基準 「エクセレントNPO」を目指すための自己診断リスト 初級編』を発売しました。本書は、国内外の有力NPO・NGOの代表などの実践者と専門家などによる3年にわたる議論を踏まえて、「エクセレントNPO」になるための33の評価基準の解説と、基礎的な28項目の自己診断ツールをまとめたものです。この評価基準を多くの非営利組織が活用することで、非営利の世界に質の向上や社会の課題解決に向けた競争を生み出したいと考えています。

### ■『「エクセレントNPO」の評価基準』ブックレットについて



**タイトル：**「エクセレントNPO」の評価基準  
**「エクセレントNPO」を目指すための自己診断リスト 初級編**  
**編者：**「エクセレントNPO」をめざそう市民会議  
**発行者：**言論NPO 代表 工藤泰志  
**定価：**840円（税込）※購入方法の詳細は下記をご覧ください  
**発行日：**2010年11月30日 **ページ数：**A5判 120頁

NPO法制定から12年が過ぎ、日本の市民社会は本当に強くなったのか。強い市民社会に向かう「良循環」をつくり出すにはどうすればいいのか。そのような問題意識のもと、国内外で活躍する有力なNPO・NGOの代表や専門家などと共に3年がかりで完成させたのが33の「エクセレントNPO」の評価基準です。

本書では33の評価基準について、小倉和夫氏（国際交流基金理事長）、島田京子氏（横浜市芸術文化振興財団代表理事・専務理事）、國松孝次氏（救急ヘリ病院ネットワーク理事長）の発言を交えながら詳細に解説しています。また、後半は「エクセレントNPO」を宣言するために必要最低限度の16基準28項目について、具体的な事例を交えながら解説しています。この評価基準をものさしにすることで、自らのNPOの活動の足りないところや、長所、欠点が見えるような構成になっています。

また、この評価基準はNPOにとどまらず、公益関連の団体や企業まで適用が可能だと考えています。市民社会を構成する全ての組織をこの基準で評価することで、組織と市民との関係を見直す契機にもなるはずです。この評価基準の提案から、「強い市民社会」に向けた大きな議論づくりを始めます。

### ■本書の構成

#### ◆「エクセレントNPO」の基本条件と評価基準の体系

「エクセレントNPO」になるためには「市民性」「社会変革性」「組織安定性」の3つの基本条件を満たさなければなりません。それぞれの条件を満たすために考えなくてはならない最も重要なテーマを「評価の視点」という形で設定し、3つの基本条件をクリアするために必要な項目を「評価項目」としました。最後に、「評価の視点」に基づき「評価項目」はどのような条件を満たせば望ましい状態になり得るのか、その評価基準の構造と体系を解説します。

## ◆日本の非営利セクターの現状と課題

NPOを対象に行ったアンケート結果などを交えながら、非営利セクターを取り巻く現状がどうであったのか。「エクセレントNPO」になるための3つ基本条件の背景を明らかにしていきます。

## ◆「エクセレントNPO」の33の評価基準

「エクセレントNPO」となるための33の評価基準について、『「エクセレントNPO」をめざそう市民会議』の共同代表である小倉和夫（国際交流基金理事長）、島田京子（横浜市芸術文化振興財団代表理事・専務理事）、國松孝次（救急ヘリ病院ネットワーク理事長）の3氏の発言を交えながら、詳細に解説します。

## ◆「エクセレントNPO」に挑戦しよう　自己診断リスト—初級編—

33の評価基準を自己点検するためには合計約100のチェック項目がありますが、その中から「エクセレントNPO」をめざす上で最低限クリアしてほしい16基準を選び、28のチェック項目とその解説を掲載しています。このチェック項目は、「エクセレントNPO」を目指そうとする団体になるために満たしておくべき項目です。

## ■『「エクセレントNPO」をめざそう市民会議』とは

2010年11月、非営利セクターに競争をもたらし、強く豊かな市民社会づくりへの良循環をつくる、という理念の下に発足しました。市民会議はそのために、「エクセレントNPO（E-NPO）」の評価基準を明らかにし、非営利セクターの質の向上を目指す運動を、市民の幅広い支持を得ながら社会に展開していきます。市民会議は理事会を中心として活動しており、理事は、約20の非営利組織から成る運営委員会によって選出されます。このほか、「E-NPO」の審査・認証等を行う審査委員会、強い市民社会をつくるための議論形成を行う会議から構成されます。

市民会議は今後、更なる運動の発展に向けて、「E-NPO」を目指す宣言団体や運動への賛同者・サポーターの募集を行うほか、「E-NPO」の認証や表彰などを行う予定です。

## ■ブックレットはこちらでお求めになれます

### ◆首都圏および各地の主要書店等

### ◆インターネット

言論NPOホームページ内にある「言論ブックショップ」(<http://www.genron-npo.net/bookshop/>)から、「言論NPO直販」「Amazonストア」のいずれかを通じてお求めになれます。

### ◆FAXまたはメールでご購入の場合（言論NPO直販）

①～⑥の必要事項をご記入の上、下記の言論NPO事務局までお送りください。

①お名前（必須）、②ご住所（必須）、③電話（必須）／FAX番号、④メールアドレス、

⑤ご勤務先（所属／役職）、⑥ご注文内容：『「エクセレントNPO」の評価基準』○冊等

※ 言論NPO直販では、本ブックレットを1冊800円（税込、送料無料）にてご提供させていただきます。また、市民社会関連のバックナンバーを合わせてお求めの場合は、特別価格にてご提供させていただきます。（詳細はホームページをご覧ください）

## ■言論NPOについて <http://www.genron-npo.net/>

言論NPOは「健全な市民社会」には「健全な議論」が必要との思いから、非営利で新しいメディアや議論の舞台をつくろうと9年前に立ち上げた非営利組織です。現在、有権者主体の政治と緊張ある政策論議のためのマニフェスト評価、議論の舞台をアジアに広げるための「東京・北京フォーラム」の開催、当事者としての対案を専門家による各種会議の議論を基にして作成し、政府などに提言する等の活動を行っています。

### 【認定NPO法人 言論NPO 概要】

所在地：〒103-0027 東京都中央区日本橋1-20-7

設立：2001年11月

代表者：工藤 泰志

### 【お問合せ先】

認定NPO法人 言論NPO

TEL：03-3548-0511 FAX：03-3548-0512

担当：宮浦、山下